

貯法	A液:室温保存
	B液:3~5℃の 冷暗所保存

## 繁殖用薬

## エンブリオテック

## 受精卵回収用灌流液

## 【本質の説明又は製造方法】

本剤は、牛の受精卵灌流回収及び移植基質として汎用される修正リン酸緩衝液(m-PBS)<sup>1)</sup>にいくつかの性能を追加した溶液<sup>2)</sup>です。

本剤は、経時的な変化を防ぐため、A液(950mL)とB液(50mL)に分注してあります。A液、B液共に滅菌済ですので、使用時にB液をA液に無菌的に加えれば再汚過の必要はありません。

尚、本剤には、抗生物質が含まれておりませんので、必要に応じて市販の抗生物質を適量お使い下さい。

1)Whittingham,D.G.Nature(Lond.)233,125(1971)

2)鈴木達行ら:種畜牧場調査実験報告書1,19~24(1988)

## 【成分及び分量】

〔A液〕100mL中

成分	分量
塩化ナトリウム	715.8mg
塩化カリウム	31.6mg
リン酸二水素カリウム	10.5mg
リン酸水素二ナトリウム(無水)	73.7mg
乳酸ナトリウム50%液	484.2mg (乳酸ナトリウムとして242.1mg)

〔B液〕100mL中

成分	分量
塩化カルシウム水和物	530mg
塩化マグネシウム	200mg
ピルビン酸ナトリウム	100mg
ブドウ糖	2,000mg
牛血清アルブミン	6,000mg

## ■A液、B液混合時の規格

性状:無色~淡黄色の澄明な液

pH:6.5~7.5

浸透圧:280~300mOsm

## 【効能又は効果】

牛の受精卵の回収

## 【用法及び用量】

A液とB液を95:5の割合で混合し、受精卵回収用灌流液として、通常1回1頭当たり500~1,000mLを使用する。

## 【使用上の注意】

〔基本的事項〕

## 1.守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
  - ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
  - ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
- (取扱い及び廃棄のための注意)
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
  - ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
  - ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
  - ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

## 2.使用に際して気を付けること

(牛に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (取扱い上の注意)
- ・本剤による受精卵の処理は、3時間以内に終了すること。
  - ・A液とB液のロットNo.が合致している事を確認すること。ロットNo.が合致しない場合は、浸透圧、pHが至適範囲からはずれる事がある。
  - ・A液、B液混合後は、出来るだけ速やかに使用すること。
  - ・A液及びB液を混合する際、温めすぎると濁りが発生する場合がありますので、40℃以上に上げないように注意すること。
  - ・B液は濃厚溶液であるため、ときに灰白色の沈殿を生じる事がある。その場合でも本剤の性能に影響はないが、念のため沈殿が認められた場合は使用を避けること。

【使用期限】 包装に表示の使用期限内に使用すること。

【包装】 A液:950mLプラスチックバイアル×10本  
B液:50mLバイアル×10本

## 【製品情報のお問い合わせ】

日本全薬工業株式会社

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

フリーダイヤル 0120-452-793

受付時間 9:00-17:00(土日祝日・弊社休業日を除く)

製造販売元



日本全薬工業株式会社

ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。